

---

福祉社会学会ニュースレター 第55号

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.55

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: [maf-ws@mynavi.jp](mailto:maf-ws@mynavi.jp)

---

## 目次

- \* 福祉社会学会・第17回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について（2月7日締切）
- \* 福祉社会学会・第17回大会自由報告の募集について（3月31日締切予定）
- \* 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- \* 福祉社会学会・第17回大会の抄録集のホームページ掲載について
- \* 福祉社会学会・第17回大会シンポジウムのお知らせ
- \* 第5回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦のお願い
- \* 理事選挙について
- \* 理事会報告
- \* 新入会員の紹介
- \* 外部国際学会の御案内
- \* 事務局からのお願い

---

\* 福祉社会学会・第17回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

---

福祉社会学会第17回大会は本年6月15日（土）・16日（日）に明治学院大学白金キャンパスにて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後1週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の3種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション
- (3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4)研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

(1)の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合、2月11日頃にニューズレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2)は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書（公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの）を一緒にご提出ください。

(3)は非会員を報告者に含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、報告者となる非会員には大会参加費を支払うことが求められ、その招聘や大会参加に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・ 締切：2月7日（木）
- ・ 申し込み先アドレス：fukushisyakai★googlegroups.com（←★を@に変えてください）
- ・ 企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・ テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・ テーマ（そのまま部会名となります）
- ・ 拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・ 部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員会上野加代子までご連絡ください（uenokayoko★lab.twcu.ac.jp←★を@に変えてください。）

---

**\* 福祉社会学会・第17回大会自由報告の募集について**

---

本年6月15日（土）・16日（日）に明治学院大学にて開催予定の第17回大会の自由報

告募集のお知らせです。2月28日に発行予定の学会ニューズレターにて正式な案内を行いますが、報告申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも3月31日(日)の予定です。申込書と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。なお、いずれも電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、2月28日に発行予定の学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります(郵送されません)。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ(2月28日に更新予定)にご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

---

#### \* 現在非会員で大会報告をお考えの方に

---

次回の本学会への入会承認は6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告(自由報告、テーマセッション報告)いただくことが可能です(共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です)。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の3月31日(日)必着で福祉社会学会事務局(〒464-8601 名古屋市千種区不老町780 名古屋大学環境学研究科 上村泰裕研究室)あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って3月31日(日)までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。
- (4) 同じく3月31日(日)提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

---

## \* 福祉社会学会・第17回大会の抄録集のホームページ掲載について

---

第17回大会では、抄録集をHPで掲載することになりました。抄録集が出来上がりましたら、学会員にはメールでパスワードをお知らせします（パスワードでの情報管理）。テーマセッションと自由報告にご応募なさる場合は、抄録集がHPにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、従来どおり学会大会の受付にて配布いたします。

---

## \* 福祉社会学会・第17回大会シンポジウムのお知らせ

---

第17回大会のシンポジウムは、以下に決定いたしました。

<タイトル>

「多様な親子関係」への支援を再考する

<企画の趣旨>

近年、離婚・再婚等の増加に伴い、ステップファミリーで育つ子どもたちが増えていると推定されている。また、児童虐待の防止対策が進展してきたこともあり、親から離れて施設などで暮らす子どもたちが受ける社会的養護に注目が集まっている。さらに今日の福祉政策において、被虐待児童には、より個別的なケアが望ましいとされ、乳児院や児童養護施設よりも里親による養育などが優先されること、加えて、パーマネンシー保障の重要性が強調され、子どもが親元に帰らない場合には、特別養子縁組での安定的な家庭養育を優先される方針が明確に示された（2017年「新しい社会的養育ビジョン」）。

このように近年、親子関係の多様な関係性が制度的にも輪郭づけられるようになった。本シンポジウムでは、施設養護、里親、特別養子縁組、ステップファミリーに絞り、「愛着の形成/障害」、「発達」、「血縁/非血縁」などの概念に着目し、今日の「多様な親子関係」への支援を相対化することで、子育て支援において福祉社会学が取り組むべき諸課題を浮き上がらせる。

<シンポジスト>

1. 「愛着障害」概念の系譜と社会的養護 土屋 敦（徳島大学）
2. 里親家庭の「おわかれ」に関わる3つの視角——子どもの利益をめぐって 三輪清子（明

治学院大学)

3. 特別養子縁組から見てきた「多様な親子」と支援の課題 野辺陽子 (高知県立大学)

4. ステップファミリーにおける親子関係・継親子関係と子どもの福祉 野沢慎司 (明治学院大学)

<コメンテーター>

阿部 彩 (首都大学東京)

<司会>

米澤 且 (明治学院大学)

---

**\* 第5回福祉社会学会賞 (学術賞および奨励賞) 候補の推薦のお願い**

---

学会賞選考委員会では、第5回福祉社会学会賞 (学術賞および奨励賞) 候補の推薦を受け付けます。以下の要領に従ってご推薦ください。自薦、他薦を問いませんが、各会員が推薦できるのは各賞につき一点以内です。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。なお、選考の結果は2019年度の福祉社会学会総会にて発表予定です。

<受賞資格者および受賞対象>

学術賞：受賞資格者は「すべて」の会員。受賞の対象は「単著の著書」。

奨励賞：受賞資格者は原則として「修士課程入学後13年以内」もしくは「博士課程入学後11年以内」の会員 (授賞対象の刊行日を満期とする)。受賞対象は「単著の著書」あるいは「本学会誌または他の学会誌等に掲載された査読付の論文」。

<受賞対象の刊行日>

2017年1月1日より2018年12月31日の2年間に刊行された会員の著書および学術論文。

<推薦受付期間>

2019年1月8日から2019年2月10日まで。

<推薦方法>

学会賞推薦ページ (<https://iap-jp.org/jwsa/recommend> ユーザー名 jws-assoc/パスワード 111111) にログインして必要事項をご記入ください。なお、学術賞・奨励賞の有資格者であるかどうかについては、会員であるかどうかも含めて事務局で確認しますので、正確な情報がわからなくてもご推薦いただいてもかまいません。推薦方法等に関してご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

学会賞選考委員会 (委員長・田淵六郎 r-tabuch★sophia.ac.jp←★を@に変えてください)

---

### \* 理事選挙について

---

2019年6月開催予定の大会総会にて第8期役員の任期が終了することに伴い、2月に理事選挙を実施します。1月中に発送予定の郵送版に同封される選挙人名簿で資格等を御確認下さいますようお願いいたします。

会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

---

### \* 理事会報告

---

福祉社会学会 2018年度 第2回理事会議事録 (一部省略)

2018年12月22日(土) 14~17時 上智大学2号館15階社会学科会議室1 (2-1530b)

出席：安立、天田、上野、上村、菊池、金、鎮目、田淵、寺田、平岡、藤村

欠席：阿部、亀山、下夷、宮垣

0. 冒頭、藤村会長より挨拶があった。

1. 事務局より、第17回大会を2019年6月15日(土)~16日(日)に明治学院大学白金キャンパスで開催する予定であることが報告された。
2. 上野研究委員長より、第17回大会のシンポジウム「多様な親子関係」への支援を再考する」の企画を開催校と合同で進めていることが報告された。保健医療社会学会との連携については、2019年5月の保健医療社会学会30周年記念シンポジウムに藤村会長

が登壇予定であること、福祉社会学会第 17 回大会のテーマセッションに保健医療社会学会会員を報告者として招くことが報告された。研究会の開催については、首都大学東京の公開研究会を後援（2018 年 11 月 22 日）し、東洋大学と共催で研究会を開催（2019 年 3 月 9 日）することが報告された。

3. 寺田編集副委員長より、学会誌第 16 号の編集状況について報告された。特集 1 「「市民」の境界と福祉」と特集 2 「市民福祉の制度化」。自由投稿論文は投稿 12 本のうち 8 本を受理した。書評は会員の単著に関する 6 本を掲載予定である。
4. 社会学系コンソーシアム評議員の安立理事より、1 月 26 日に開催予定のシンポジウムについて紹介があった。
5. 社会政策関連学会協議会協議員の菊池理事より、2018 年 6 月 30 日に開催された「初めての査読論文」と題する若手研究者フォーラムの報告と、2019 年 6 月 29 日に開催予定の修士論文執筆に関するフォーラムの紹介があった。
6. 第 16 回大会の開催校・中京大学の亀山理事に代わり、財務委員の鎮目理事より大会会計の報告がなされた。
7. 事務局報告として、『福祉社会学研究』の J-STAGE 登載に関する経過が説明された。また、入会希望者 3 名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。
8. 寺田編集副委員長より、審議事項として、投稿規程および執筆要領の改正案が説明された。『社会学評論スタイルガイド』第三版が近刊なので、それをふまえて調整のうえ次回理事会で最終決定を行なうことが確認された。また、投稿申込書書式と自由投稿論文チェックシートの導入が提案され、承認された。
9. 田淵学会賞選考委員長より、審議事項として、選考委員会の構成が提案され、承認された。選考スケジュール、広報と受付、予算措置についてもそれぞれ承認された。
10. 事務局より審議事項として、理事選挙について提案がなされた。選挙管理委員については、佐藤恵会員、安藤藍会員、菊池理事、寺田理事を選出した。
11. 第 18 回大会を同志社大学で開催することについて畑本裕介会員より内諾を得ていたが、全会一致で承認された。依頼の経緯に鑑み、次期の研究委員長と庶務理事に十分なバックアップを行なうよう申し送ること、大会当日のスタッフの確保についても支援を行なうことが確認された。
12. 次回理事会を 2019 年 6 月 16 日午前に明治学院大学白金キャンパスで開催することが決定された。

---

#### \* 新入会員の紹介

---

(Web 版では省略)

---

**\* 外部国際学会の御案内**

---

**【第16回東アジア社会政策会議（EASP）】**

日時 2019年7月2～3日

会場 台湾・国立台湾大学

要旨締切 2019年3月12日

<http://welfareasia.org/archives/311>

**【世界社会学会社会政策部会（ISARC19）】**

日時 2019年8月28～30日

会場 ドイツ・マンハイム大学

要旨締切 2019年1月13日（延長されました）

<http://www.rc19-annualconference.org>

---

**\* 事務局からのお願い**

---

御所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係（maf-ws@mynavi.jp）までお知らせ下さい。

**【編集・発行】福祉社会学会事務局**